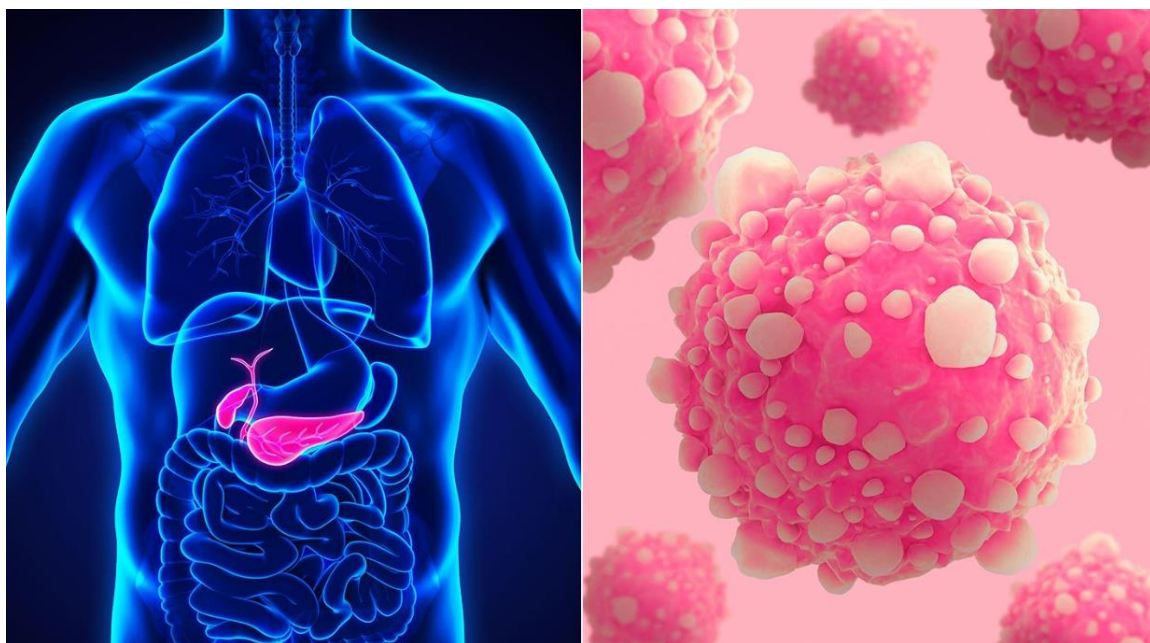


# 進行膵癌の BRCA 変異例にオラパリブが有効

英 AstraZeneca 社と米 Merck 社は、生殖系細胞に **BRCA 変異**を持つ進行膵癌の1次治療後の維持療法として、**PARP 阻害薬**である**オラパリブ**が有効なことが明らかとなったと発表しました。



1 次治療で白金系抗癌薬で増悪しなかった患者に対する維持療法としてのオラパリブの有効性を評価したフェーズ 3 試験 POLO で、主要評価項目である無増悪生存期間（PFS）の有意な延長が確認されました。

